

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 桑名市 (都道府県: 三重県)
 本事業の担当部局名 市長公室SDGs推進課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業				
区分	重点メニュー				
関連事業メニュー	1.2.5 若い世代向けの総合的なライフデザインセミナー				
個別事業名	若者施策推進ワークショップ事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	新規		
実施期間	令和6年4月1日	~	令和7年3月31日	事業開始年度	年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	300,000				円
自治体における少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題)※全事業共通				
	<p>桑名市では、市総合計画で「こどもを3人育てられるまち」をビジョンとして掲げ、子ども・子育て支援に取り組む体制づくりに努めてきた。しかし、市の総人口は、平成27年の14万3千人をピークに減少し、令和4年2月に14万人を下回る事態となったことに伴い、同年8月に、「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」を発表し、“流入促進”、“定着環境整備”、“流出抑制”の3つのフェーズからなる緊急対策を講じていく方針を打ち出した。</p> <p>そのような中、子ども・子育て支援に取り組む体制の整備を実施してきたが、今後、より一層、子育て世代が安心して子育てができるよう、そして、出会い・結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」のため、地域における少子化対策を推進していく必要がある。</p>				
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中の本個別事業の位置付け)				
	<p><当年度の少子化対策の全体像>※全事業共通 令和4年8月に「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」を発表し、“流入促進”、“定着環境整備”、“流出抑制”の3つのフェーズからなる緊急対策を講じる方針に基づき、少子化対策に取り組む。</p> <p><本個別事業の位置付け> 本事業は、市総合計画のビジョンの1つである「こどもを3人育てられるまち」、「桑名市人口減少対策パッケージ“14万”リバウンドプラン」の流出抑制に係る事業として位置付けている。学生や若い世代が、結婚、子育て、仕事等の様々なライフイベントについて積極的に考え、将来のライフデザインを希望を持って描く機会を提供するためのワークショップ等を実施する。</p>				
(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))					
個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	ワークショップや意見交換会の開催	学生や若い世代が、結婚、子育て、仕事等の様々なライフイベントについて積極的に考え、将来のライフデザインを希望を持って描く機会を提供するため、研究員を招いてサポートして貰いながら、学生や若い世代向けのワークショップや意見交換会を実施する。(全3回、各10名の参加を予定) ワークショップや意見交換会で学生や若い世代の声については、市の様々な施策において取り入れ、活用できるよう努める。		○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】				
令和6年度に実施する事業の実績から浮かび上がる課題に対応して、見直しをしながら事業を継続していく。					
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】					
特になし					
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	桑名市総人口		人	140,000 (可能な限り早く)	138,986 (R5.9末時点)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.32 (令和2年)	
	婚姻件数		件	597 (令和2年)	
	婚姻率			4.3 (令和2年)	

	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	(アウトプット)				
	1	ワークショップや意見交換会への参加者数(1回当たり)	人	10	—
	2				
	3				
	(アウトカム)				
	1	ワークショップや意見交換会への満足度	%	80	—
	2				
3					
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	特になし				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	民間事業者等の知識やノウハウを活用することで、効果的・効率的に目標の達成を目指す。				